



がんばろう福島

～ Voices from Fukushima ～



当協会HPをご覧ください。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から4年8ヶ月が経ちました。福島県は、10万人以上の方が現在も避難生活を強いられています。公共インフラの復旧・整備が着実に進み、環境の回復や再生に向けた取り組み、医療・福祉施設の再開など、未来に向けた新たな明るい話題も増えてきています。

(公財)福島県国際交流協会では、震災直後より当協会広報紙「Gyro (ジャイロ)」の震災復興版として「がんばろう福島」を発行しており、福島県の現状や県内の国際交流・協力団体の活動、外国出身県民の声などを紹介しています。

※本紙の翻訳版は、当協会HPからダウンロードできます。



福島の風景

外国出身者コミュニティ・スタディツアーの実施

10月25日(日)、当協会では仙台市へのスタディツアーを実施したところ、県内各地の外国出身者コミュニティのリーダー約20名が参加しました。午前中は、仙台国際センターで開催された「せんだい地球フェスタ」を視察し、外国出身者のブース出展やステージ出演の様子、活動紹介のパネル展示などを見ました。午後は、宮城県内の外国出身者コミュニティの代表者2名から団体運営について話を聞きました。参加者からは、県外の団体の活動を見ることができてノウハウを学べた、刺激になったという感想が多く寄せられました。



スタディツアー参加者のみなさん



福島の青少年が韓国の全州(チョンジュ)大学を訪問したときの様子

ふくかんねっと「福島韓国青少年交流プログラム」

今年は日韓国交正常化50周年に当たり、NPO法人ふくかんねっとが(公財)日韓文化交流基金からの委託を受け、「福島韓国青少年交流プログラム」を実施しました。7月29日(水)から10日間は、韓国の青少年166名が県内や東京を、9月18日(金)から5日間は、福島の青少年80名が韓国全州(チョンジュ)などを訪れ、両国間の交流を図りました。

10月12日(土)には福島市で報告会が行われ、プログラムに参加した青年より、事業の報告と相互理解を更に深める決意が述べられました。

多言語によるモニタリング情報の公開

福島県が運営するウェブサイト「ふくしま 新発売。」では、今秋より、英語に加えて他の言語でもモニタリング情報の公開を開始しました。日本語と英語のほか、イタリア語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語でも、福島県産の農林水産物の放射性物質検査結果を品目や採取日、地域、地図などの項目から検索することができます。国内外に対して、福島県産農林水産物の検査結果等の正しい情報を伝えることを目的としています。



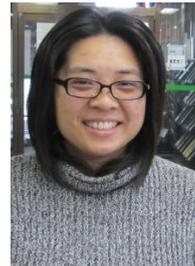
「ふくしま 新発売。」HP
(<http://www.new-fukushima.jp/>)



福島に暮らす人々の声

アリソン ラムさん（福島市在住 オーストラリア出身）

2011年夏より、福島市のALT（外国語指導助手）として、市内の小・中学校で英語を教えています。日本に来たばかりの頃は、東日本大震災直後であったことや異文化での生活に、少なからずホームシックを感じましたが、ゆっくりと時間が流れているように感じられる福島ののどかな雰囲気が自分には合っていて、現在はとても居心地が良いです。私は周りの人より自然災害への危機管理に疎く、先日の大雨の時に避難情報が出ていても特に気にしないでいましたが、有事の時は正しい情報を得て、落ち着いた行動を取れるようにしておきたいと思います。



ムダシル バフィットさん（福島市在住 スーダン出身）

今年9月に来日し、現在福島県立医科大学で研修医として働いています。福島で暮らすことに大きな不安はなく、日々仕事に邁進しています。職場ではすべて英語で会話をするので、日本語を使わなくてもコミュニケーションが取れていますが、日常生活では日本語の必要性を感じています。今後約10年間は日本での勤務が続きますので、地域の方々とも交流ができるよう、毎週日本語のレッスンを受けています。

李 莉岩さん（郡山市在住 中国出身）

今年3月に「日中文化ふれあいの会 幸福」を立ち上げました。郡山市内に住む中国出身者とその子どもたちや、日本と中国の文化交流に関心のある方などが会員です。子どもたちに母語を教えたり、ヨガや中国舞踊の講座を開催したりして、互いに理解を深める機会を設けています。私自身、日本で暮らし始めた頃や東日本大震災などで、助けを求めたくてもどうしたらいいかわからない経験をしましたが、特に外国出身者で同じような思いの方たちは少なくないと思います。思いやりの心を持ち、共に助け合うことで、楽しく暮らしていける地域づくりに貢献したいと考えています。



福島県内各地の環境放射能測定値（暫定値）

出典：福島県庁ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/>

福島県ホームページでは、県内各地の環境放射能測定値（暫定値）を発表しており、（公財）福島県国際交流協会ホームページでは、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、韓国語にて更新しています。

単位：マイクロシーベルト/時間

日時	福島市	郡山市	白河市	会津若松市	南会津町	南相馬市	いわき市
（平常値）	0.04	0.04-0.06	0.04-0.05	0.04-0.05	0.02-0.04	0.05	0.05-0.06
2015.11.20 9:00	0.20	0.11	0.08	0.06	0.04	0.09	0.07
測定装置	固定型MP	固定型MP	固定型MP	固定型MP	固定型MP	固定型MP	固定型MP
福島第一原発からの方向及び距離	北西 約63km	西 約58km	西南西 約81km	西 約98km	西南西 約115km	北 約24km	南南西 約43km

※測定地点は、福島市は県北保健福祉事務所南側広場、郡山市は郡山合同庁舎東側駐車場、その他の市町は各合同庁舎の駐車場です。
※平常値は、県内の平成21年度放射線レベル調査結果です。



お知らせ

○外国出身者のための生活相談窓口のご案内

当協会では、外国出身の方々のために外国語で生活相談に応じています。

- 英語・中国語・日本語 毎週火曜日～土曜日 9:00～17:15
- 韓国語・タガログ語・ポルトガル語 木曜日 10:00～14:00
※第4・5木曜日は事前予約が必要です。

電話：024-524-1316(専用) E-mail: ask@worldvillage.org (専用)

発行者

（公財）福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町2-1
福島県庁舟場町分館2階

☎024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

URL <http://www.worldvillage.org>